

プログラム番号 2902D

図書館員のためのアジア諸国情報の調べ方 —留学生に対する図書館利用支援—

■講師

廣田 美和（国立国会図書館 関西館 アジア情報課 副主査）

平成13年から国立国会図書館に勤務。文献提供業務や図書館協力業務等に従事し、現在は関西館アジア情報課で韓国・北朝鮮関連資料の収集・整理・提供及びアジア情報全般に関するレファレンス業務などを行っている。平成29年度に国立国会図書館主催『レファレンス・サービス研修』において「日本語・英語で調べるアジア諸国の統計」の実習を担当した。

玉岡 兼治（聖カタリナ大学 図書課 課長）

平成2年から聖カタリナ女子大学（当時）図書課に勤務。現在は図書課事務総括のほか、実務として・ILL・図書館利用指導担当。学生の図書館利用指導については、画一的な説明ではなく、学生の実態や理解度に沿い、学生各自が使い方の分かる方策・実践について着任以来取り組んできた。平成20年度国立情報学研究所学術情報リテラシー教育担当者研修修了。平成22～23年度SPOD次世代リーダー養成研修受講（1期生）平成24年1月修了。

三浦 さゆり（愛媛大学 図書館事務課 調査企画チームリーダー）

平成11年度から愛媛大学（図書館）に勤務。平成29年度から参考調査・情報リテラシー教育支援等担当。平成17年度国立情報学研究所学術情報リテラシー教育担当者研修修了。平成23～24年度SPOD次世代リーダー養成研修受講（2期生）平成25年1月修了。

■プログラム概要

良い図書館とはここでは、利用者に適切な資料を紹介、供することのできる図書館ということにします。急増する留学生は、卒業研究等に自国のことをテーマに選ぶことが多いように見受けられます。ところが日本で自国の資料を探す際には、その学生の情報リテラシー能力や、言語能力に差があることも原因し、日本人学生と同等の図書館サービスが受けにくい、という問題点があります。また、図書館の対応も一人一人異なった対応を取らないとならないため、時間はかかる上に、加えて図書館員も未経験な分野で対応が難しい、ということが多くの大学図書館で見られます。

そこで、本プログラムでは第1部で留学生に対して自館が取り組んでいる事例や悩みを共有し、第2部で国立国会図書館講師派遣型研修の協力を受け、日本語と英語でアジア諸国の情報を調べる方法の紹介・実習を行います。現地語の知識がなくても問題ありません。

■準備物や事前課題

受講者は自館での対留学生支援業務でどのような問題があるか、簡単にまとめておいてください。無線LANが利用できる端末（PC、タブレット等）を持参してください。アクセスポイントは会場で用意します。

■主な受講対象

図書館職員

■本プログラムの到達目標

1. インターネットから日本語と英語で効率よく正確なアジア情報を得る方法を知ることができる。
2. 留学生に対する自館の対応を改善することができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）13：00～15：00

場所：香川大学幸町北キャンパス